MODELLISTA

MSD43-60017/18
MSD43-60019/20
リヤバンパースポイラー

取付・取扱要領書

この度はモデリスタ リヤバンパースポイラーをお買い上げ頂き誠に有難うございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意を記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

塗装品

品番	塗装色	適合車種	備考
❶ MSD43 - 60017 - A3	プラチナホワイトパールマイカ <089>	ランドクルーザー300	センターカバー STD用
❶ MSD43 - 60017 - C2	ニュートラルブラック <229>		
❷ MSD43 - 60018 - A3	プラチナホワイトパールマイカ <089>		センターカバー HITCH用
❷ MSD43 - 60018 - C2	ニュートラルブラック <229>		

未塗装品

品番	塗装色	適合車種	備考
❸ MSD43 - 60019 - NP	未塗装品（プライマー未処理）	ランドクルーザー300	センターカバー STD用
❹ MSD43 - 60020 - NP			センターカバー HITCH用

・最新の適合情報は MODELLISTA 公式サイトをご覧ください。 http://www.modellista.co.jp/

■ 構成部品(塗装品)

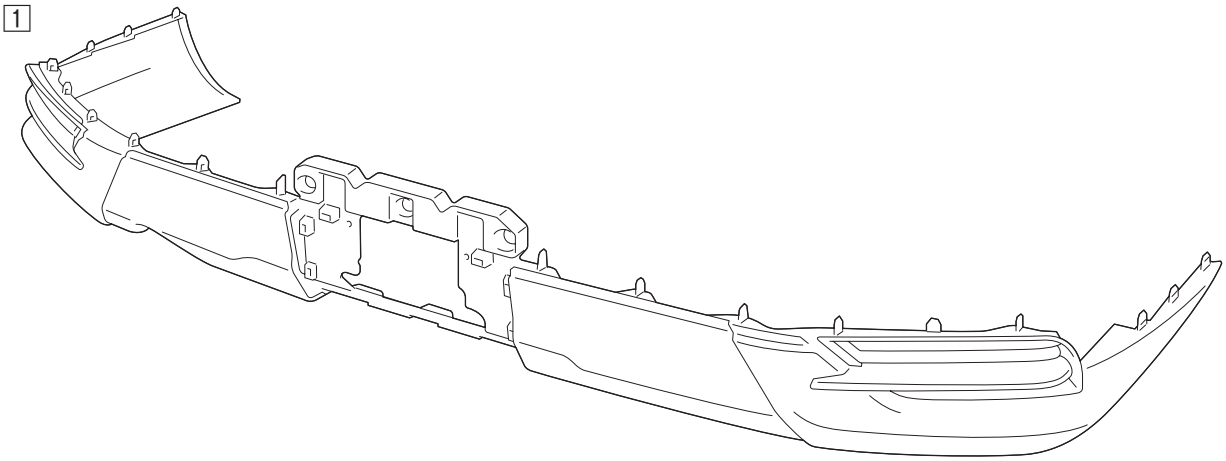
❶センターカバー STD ❷センターカバー HITCH

No.	部品名	品番	個数		備考
			❶	❷	
1	リヤバンパースポイラー	ー	1	1	PP
2	センターカバー(STD用)	MSD43 - 60H06	1	ー	
3	センターカバー(HITCH用)	MSD43 - 60H07	ー	1	
4	コーションプレート(HITCH用)	ー	ー	1	

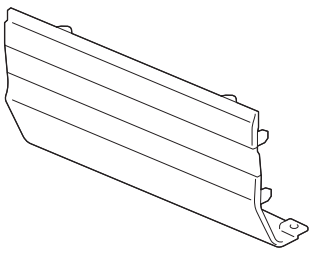
※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品がすべてそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図(塗装品)

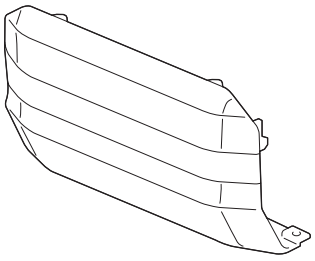
1



2



3



4



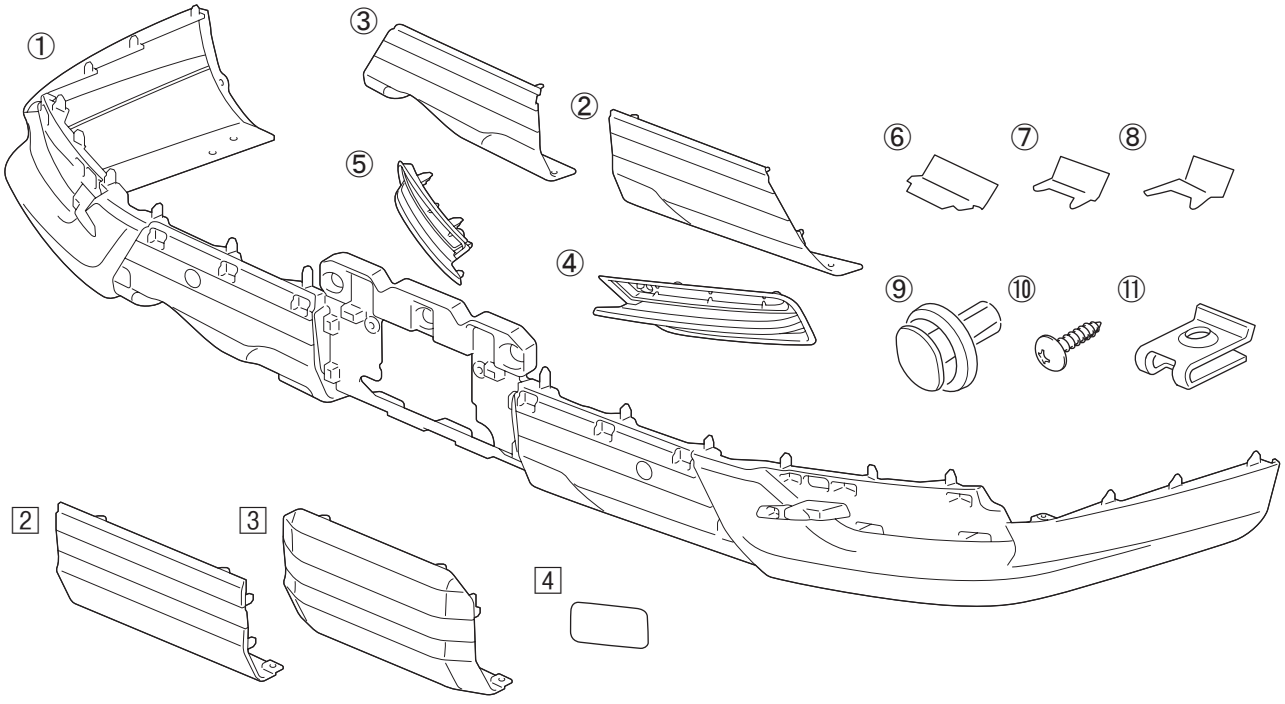
■ 構成部品(未塗装品)

❸センターカバー STD ❹センターカバー HITCH

No.	部品名	品番	個数 ❸	個数 ❹	備考
①	リヤバンパースポイラーベース	—	1	1	
②	サイドカバー RH	—	1	1	
③	サイドカバー LH	—	1	1	
④	サイドピース RH	—	1	1	
⑤	サイドピース LH	—	1	1	
⑥	エアガイド CTR	—	1	1	
⑦	エアガイド RH	—	1	1	
⑧	エアガイド LH	—	1	1	
⑨	樹脂クリップ	—	4	4	
⑩	スクリューφ5×12㎜	—	4	4	
⑪	スプリングナット	—	2	2	
2	センターカバー(STD用)	MSD43 - 60H06	1	—	
3	センターカバー(HITCH用)	MSD43 - 60H07	—	1	
4	コーションプレート(HITCH用)	—	—	1	

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品がすべてそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図(未塗装品)



※未塗装品の取り付けには、別品番のプライマーが必要です。必ずプライマーを使用してください。

	品 名	品 番
	PAC プライマー K-500 (接着強化剤)	08867-00230

■ リペアパーツセット(補給)

品番	備考
MSD80 - 60H33	⑨(4個)⑩(4本)⑪(2個)

※本品は補給専用のため、MSD43-60017/18/19/20 には付属しておりません。

■ 取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行う前は必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠ 警 告　この警告に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。

⚠ 注 意　注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。

アドバイス　スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行っていただくこと

⚠ 警 告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車（株）発行）に従い、本書の注意事項を守り作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクを守り、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注 意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

❗ エンジンルーム内、ラジエーターキャップ付近に配線を通したり部品を取り付けがある場合は、腕当や上着がラジエーターキャップに接触し、キャップが緩む場合があります。
ラジエーターキャップが緩むと冷却水が飛び出し思わぬケガや、そのまま走行した場合、オーバーヒートに繋がるおそれがあります。
ラジエーターキャップに限らず、用品取り付け作業後には作業部位周辺に異常がないかご注意ください。

❗ タイヤとタイヤハウスとの隙間が少なくなる場合があります。洗車やタイヤ交換の際、手指を挟んだりぶつけたりしないようご注意ください。

❗ 特に指示のない限り、取り外した車両部品は再使用しますので紛失しないよう整理してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール（IPA）を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープが剥がれるおそれがあります。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力が低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 外気温が 15℃未満の場合は両面テープの接着力が著しく低下します。部品または貼り付け面を人肌程度まで加温してください。

❗ 両面テープの圧着はテープの直上を 49N(5kgf) 以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に押してください。圧着が足らないと両面テープが剥がれるおそれがあります。

❗ 接着力を促進するため、取り付け後 20 分以内は洗車しないでください。

未塗装品の塗装作業について

- 本商品は塗装前に下地処理が必要です。必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- 商品を塗装する際は、 両面テープを全面マスキングしてください。
- 乾燥させる際は商品の変形が無いよう固定してください。
  又、 乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので、 下記温度条件で乾燥させてください。

  ＜温度条件＞

  ABS 系 : 60℃以下、PP,PPE 系 : 70℃以下

取り付けが終わったら

- 商品及び車両に傷が付いていないことを確認してください。
- 商品全周に渡り、 浮き・剥がれ等、 無いことを確認してください。
- 商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- 作業でバッテリーのマイナス端子をはずした場合は、 作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、 再設定・調整が必要となる場合があります。
  該当車両の修理書（トヨタ自動車（株）発行）に従い、 各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

品番・適合車種 ····· 1
構成部品（塗装品） ····· 2
構成部品図（塗装品） ····· 2
構成部品（未塗装品） ····· 3
構成部品図（未塗装品） ····· 3
リペアパーツセット（補給） ····· 3
取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ） ····· 4 ～ 5
目次 ····· 5
取り付けに必要な工具・保護具・消耗品 ····· 6
保証について ····· 6
取り付け構成図 ····· 6
車両部品の取り外し ····· 6 ～ 9
取り付け要領 ····· 10 ～ 11
車両部品の復元 ····· 12 ～ 13
取り付け完了後の点検・注意事項 ····· 13
未塗装品の取り扱いについて ····· 13
塗装前準備 ····· 14
リヤバンパースポイラーの組み立て ····· 15 ～ 16

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

一般工具、クリップリムーバー、保護シート、保護テープ、ガムテープ

下記は未塗装品の組み立てに使用

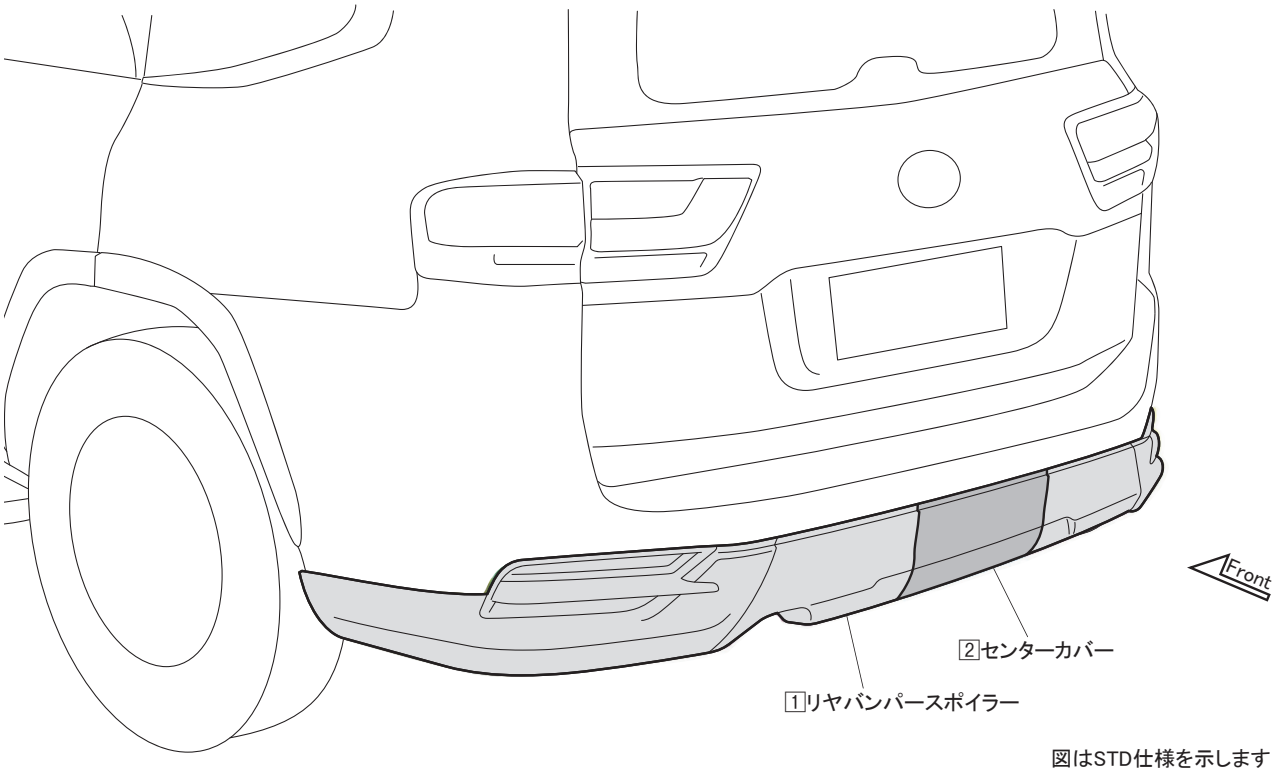
一般工具、保護シート、マスキングテープ、ウエス、イソプロピルアルコール（IPA）、
ドライヤー（外気温 15℃以下の場合）

■ 保証について

本商品は、1 年・20,000km の保証を実施致します。
（1 年、または 20,000km 走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細は MODELLISTA 公式サイト＜ http://www.modellista.co.jp/ ＞
「保証について」をご覧ください。

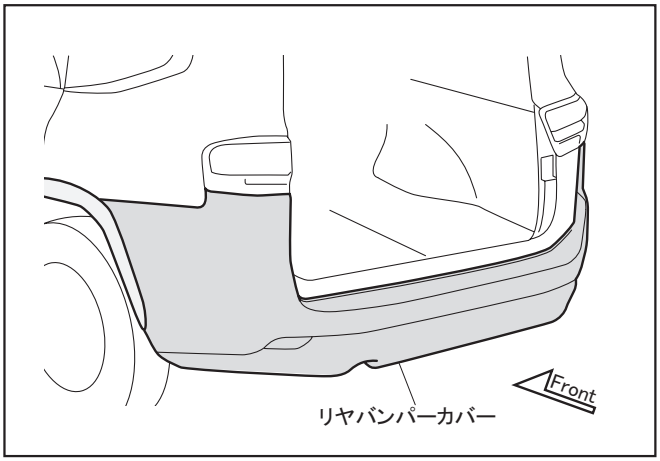
■ 取り付け構成図



図はSTD仕様を示します

TG-EV-001

■ 車両部品の取り外し



TG-EV-A22

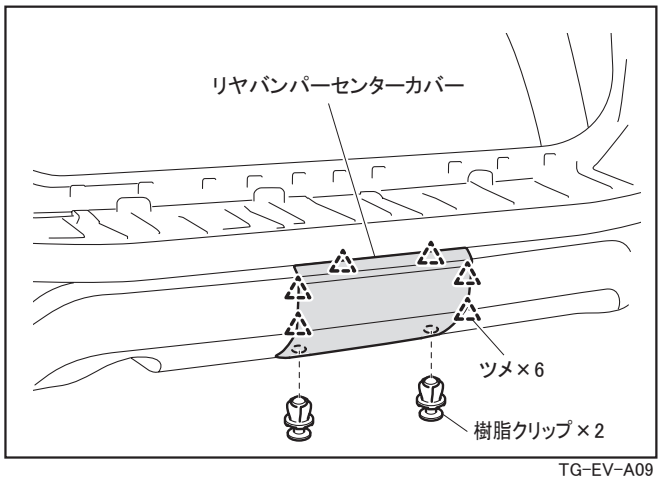
⚠ 注 意

車両から取り外した部品は、特に指示がない限り、すべて再使用しますので、傷付きや紛失に充分注意してください。

リヤバンパーカバーの取り外し

1. 修理書を参照し、リヤバンパーカバーを取り外す。

車両部品傷付き防止の為、以降の作業は必ず保護シートの上で行ってください。



TG-EV-A09

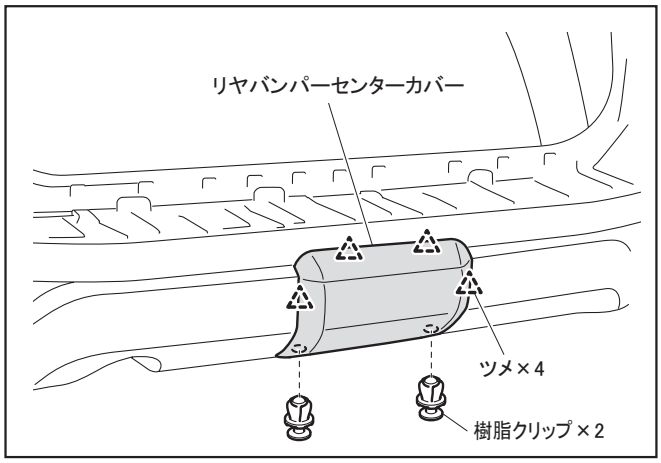
リヤバンパーセンターカバーの取り外し

■ 除く、HITCH 付き車の場合

1. 樹脂クリップ（2 個）を取り外す。
2. ツメ（6 箇所）の嵌合を外し、リヤバンパーセンターカバーを取り外す。

アドバイス

リヤバンパーセンターカバーは再使用しませんが樹脂クリップ（2 本）は再使用します。



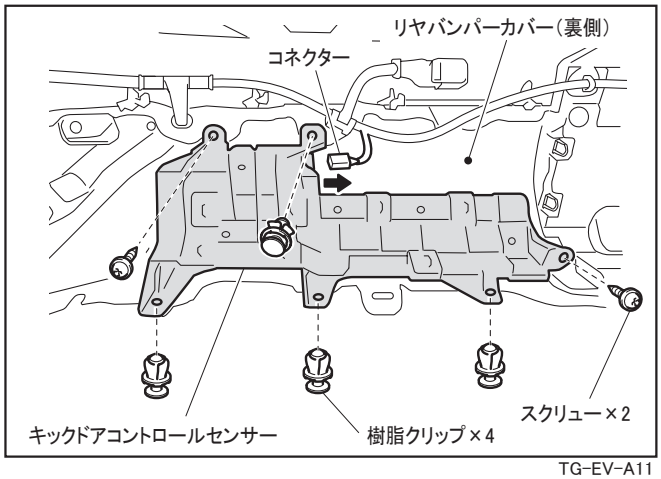
TG-EV-A10

■ HITCH 付き車の場合

1. 樹脂クリップ（2 個）を取り外す。
2. ツメ（4 箇所）の嵌合を外し、リヤバンパーセンターカバーを取り外す。

アドバイス

リヤバンパーセンターカバーは再使用しませんが樹脂クリップ（2 本）は再使用します。

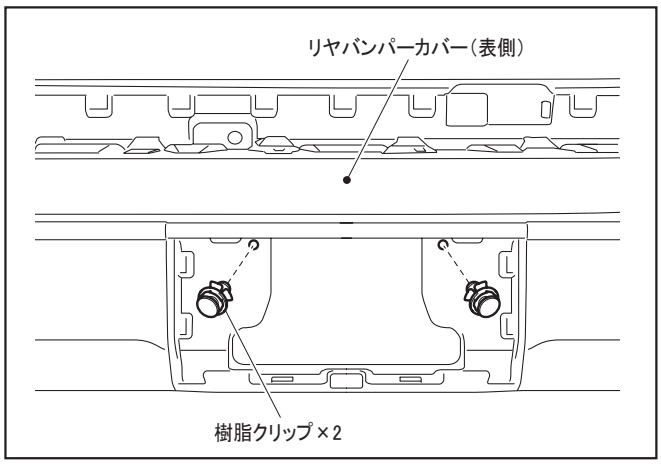


TG-EV-A11

キックドアコントロールセンサーの取り外し

■ キックドアコントロールセンサー付き車の場合

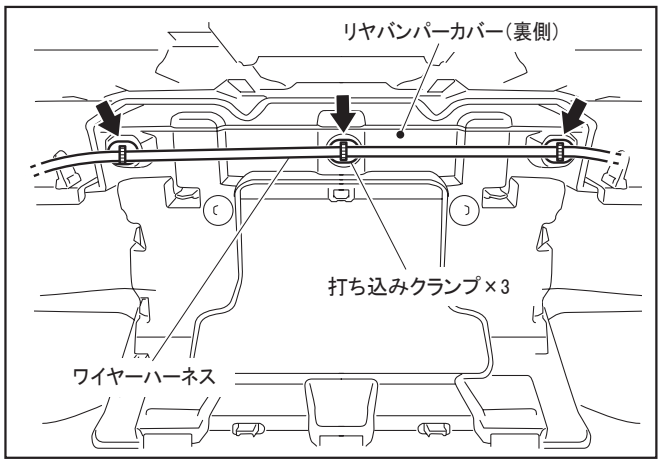
1. キックドアコントロールセンサーのコネクターを切り離す。
2. スクリュー（2 本）及び樹脂クリップ（4 個）を取り外しキックドアコントロールセンサーを取り外す。



TG-EV-A12

ロアバンパーカバーの取り外し

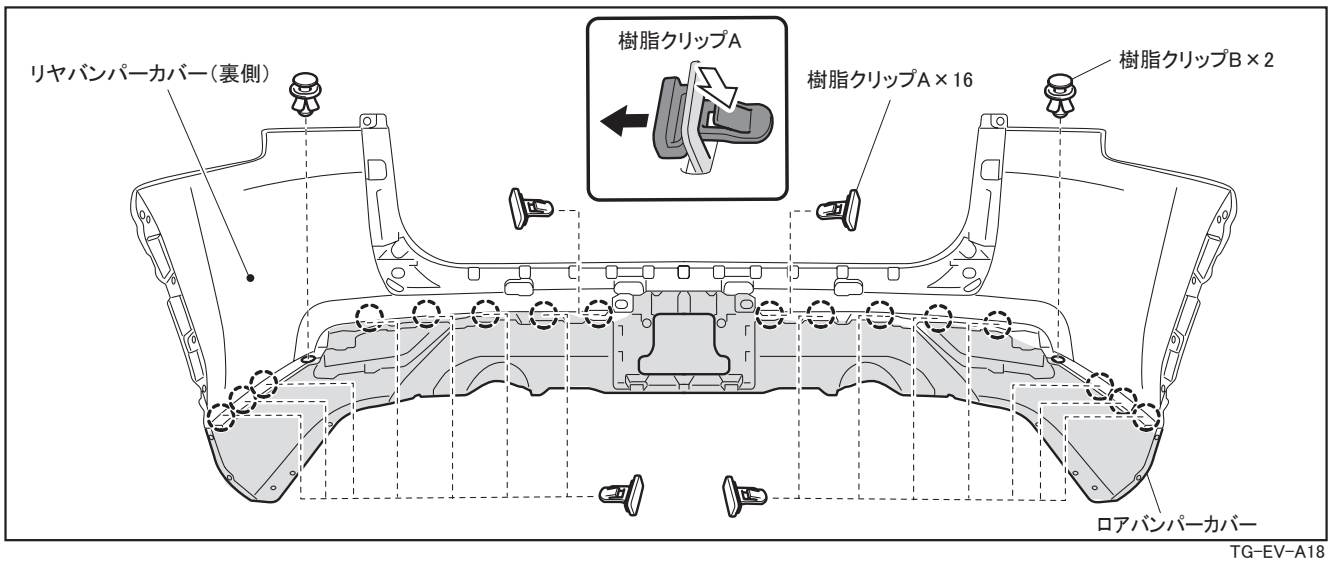
1. 樹脂クリップ（2 個）を取り外す。



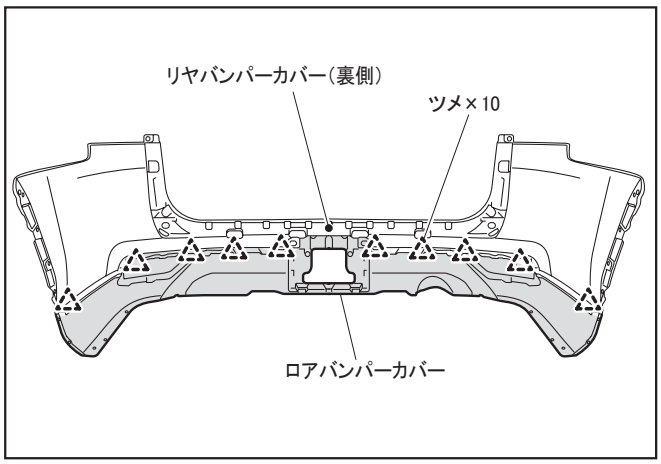
TG-EV-A13

2. ワイヤーハーネスの打ち込みクランプ（3 箇所）の嵌合を外す。

3. 樹脂クリップ A（16 個）及び樹脂クリップ B（2 個）を取り外す。

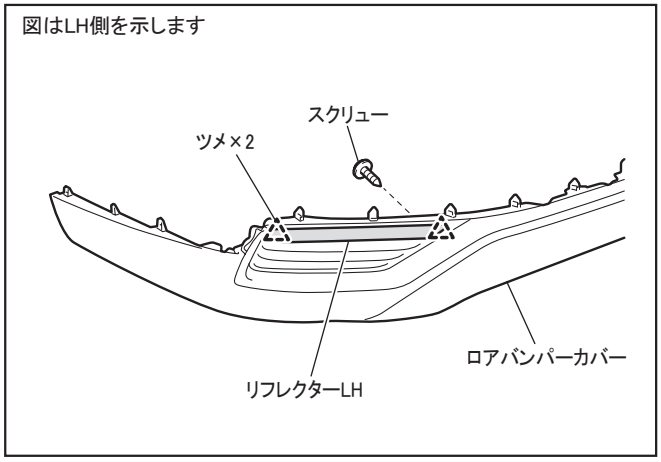


TG-EV-A18



TG-EV-A17

4. ツメ（10 箇所）の嵌合を外し、ロアバンパーカバーを取り外す。



TG-EV-A19

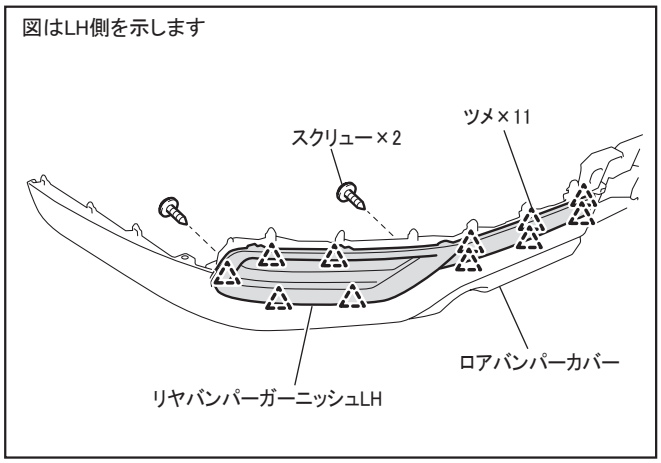
リフレクターの取り外し

■ CONV の場合

1. スクリュー（1 本）を取り外す。
2. ツメ（2 箇所）の嵌合を外し、リフレクター LH を取り外す。
3. RH 側も同様に作業する。

アドバイス

取り外したリフレクター及びスクリューは再使用しますが、ロアバンパーカバーは再使用しません。



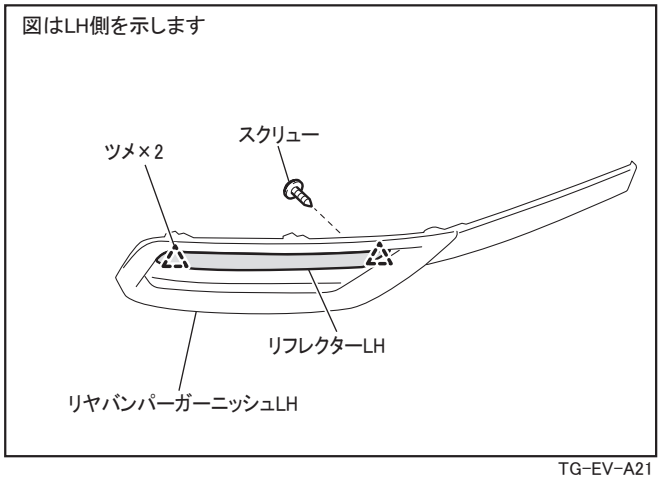
TG-EV-A20

■ HEV の場合

1. スクリュー（2 本）を取り外す。
2. ツメ（11 箇所）の嵌合を外し、リヤバンパーガーニッシュ LH を取り外す。

アドバイス

取り外したロアバンパーカバーは再使用しません。



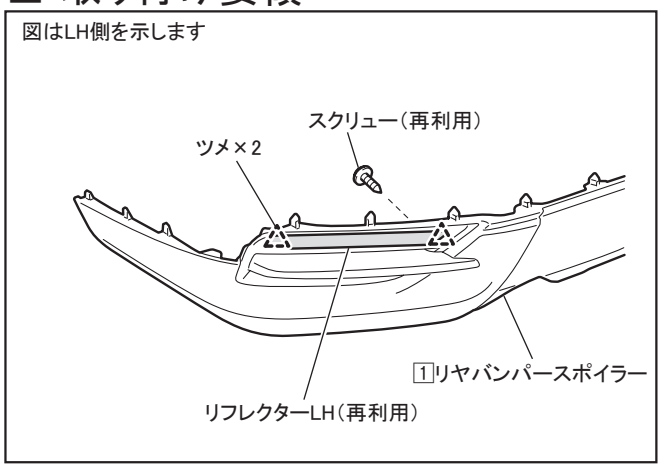
TG-EV-A21

3. スクリュー（1 本）を取り外す。
4. ツメ（2 箇所）の嵌合を外し、リフレクター LH を取り外す。
5. RH 側も同様に作業する。

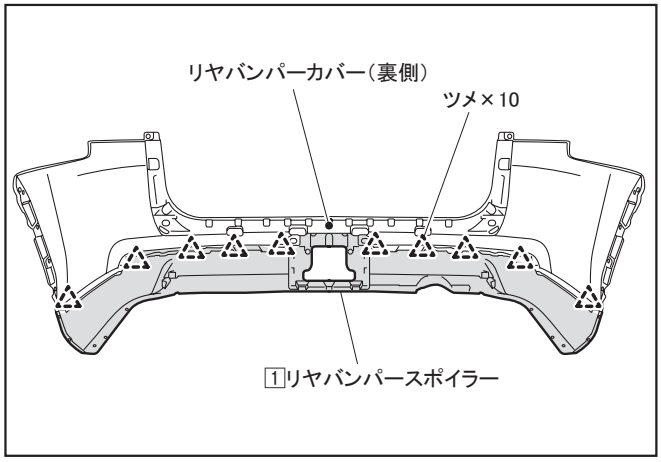
アドバイス

取り外したリフレクター及びスクリューは再使用しますが、リヤバンパーガーニッシュ LH は再使用しません。

■ 取り付け要領



TG-EV-B18



TG-EV-B17

アドバイス

リヤバンパーカバー ASSY を交換する際は、車両パーツリストを参照して該当する部品を交換してください。

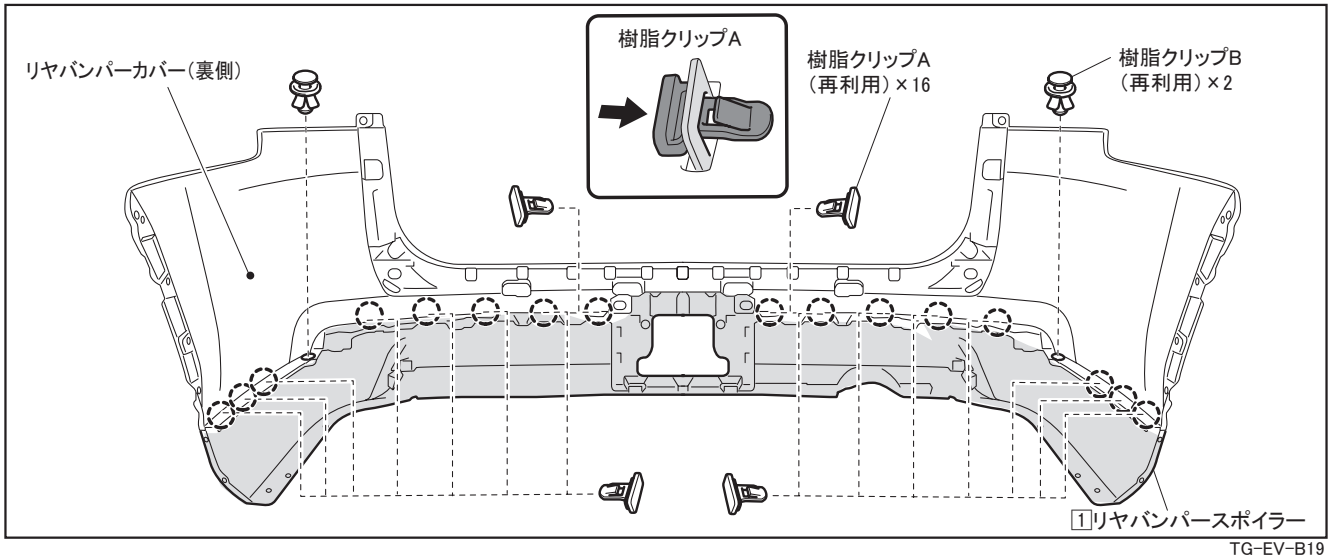
リフレクターの取り付け

1. ツメ（2 箇所）を嵌合し、リフレクター LH（再利用）を 1 リヤバンパースポイラーに取り付ける。
2. スクリュー（再利用・1 本）でリフレクター LH（再利用）を固定する。
2. RH 側も同様に作業する。

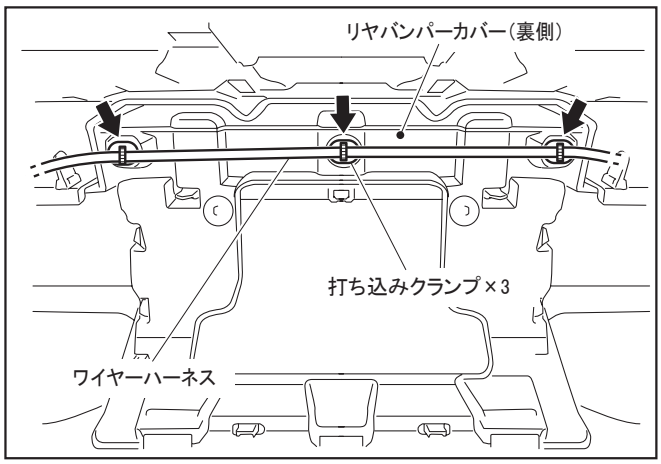
リヤバンパースポイラーの取り付け

1. ツメ（10 箇所）を嵌合させ 1 リヤバンパースポイラーを取り付ける。

2. 樹脂クリップ A（再利用・16 個）及び樹脂クリップ B（再利用・2 個）を取り付ける。

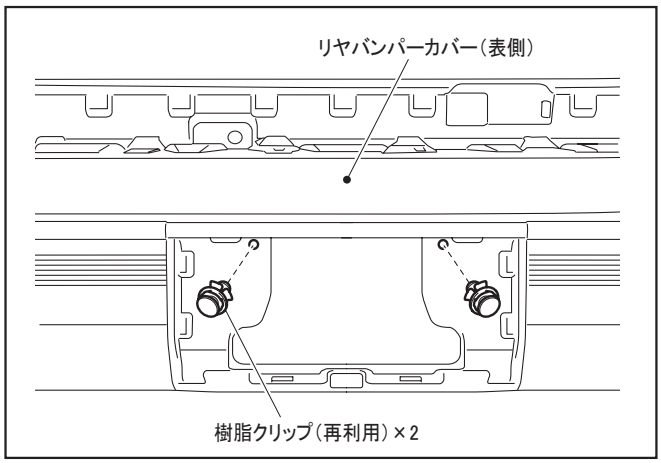


TG-EV-B19



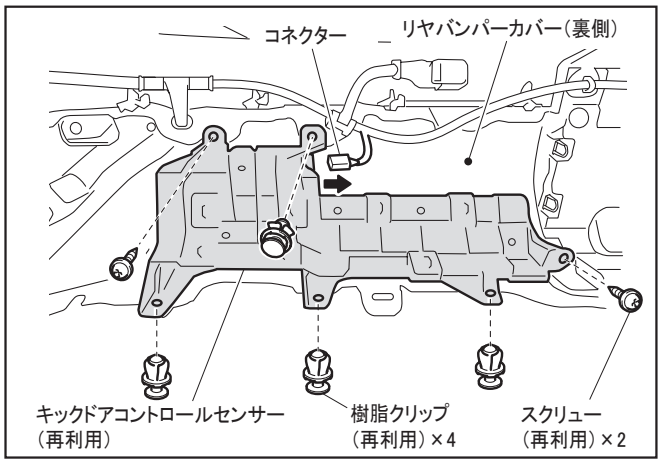
TG-EV-B03

3. ワイヤーハーネスの打ち込みクランプ（3 箇所）を嵌合させる。



TG-EV-B04

4. 樹脂クリップ（再利用・2 個）を取り付ける。



TG-EV-B05

キックドアコントロールセンサーの取り付け

1. スクリュー（再利用・2 本）及び樹脂クリップ（再利用・4 個）でキックドアコントロールセンサー（再利用）を取り付ける。
2. キックドアコントロールセンサーのコネクターを接続する。

■ 車両部品の復元

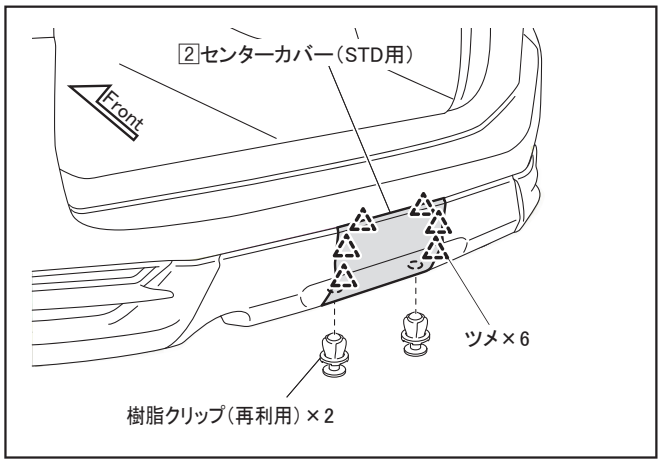
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、リヤバンパーカバーを車両に復元する。

⚠ 注 意

復元作業は、車両ハーネスの噛み込みや、車両部品の損傷に充分注意してください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化には、GTS+ 等のツールが必要な場合があります。

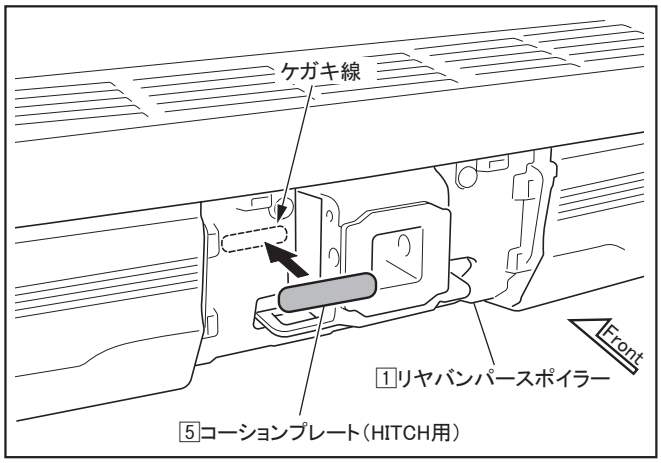


TG-EV-B06

センターカバーの取り付け

■ STD 車の場合

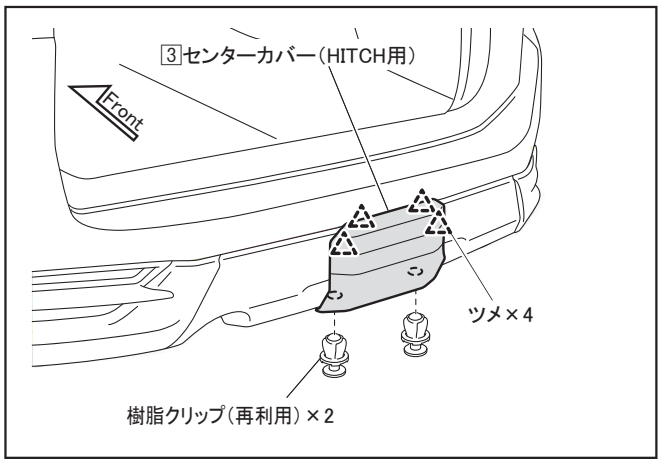
1. ツメ（6 箇所）を嵌合し、2 センターカバー（STD 用）を取り付ける。
2. 樹脂クリップ（再利用・2 個）で、2 センターカバー（STD 用）を固定する。



TG-EV-H08

■ HITCH 付車の場合

1. ケガキ線内側を脱脂する。
2. ケガキ線に合わせて 5 コーションプレート（HITCH 用）を貼り付ける。



TG-EV-B07

3. ツメ（4 箇所）を嵌合し、3 センターカバー（HITCH 用）を取り付ける。
4. 樹脂クリップ（再利用・2 箇所）を取り付け、3 センターカバー（HITCH 用）を固定する。

■ 取り付け完了後の点検・注意事項

1. 商品及び車両に傷が付いていないことを確認してください。
2. 商品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認してください。
3. 商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
4. 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
5. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
   該当車両の修理書（トヨタ自動車（株）発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
6. 接着力を促進するため、取り付け後 20 分以内は洗車しないでください

■ 未塗装品の取り扱いについて

以降は未塗装品（MSD43-60019/20-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
以降の要領に従い作業を行ってください。

⚠ 注 意

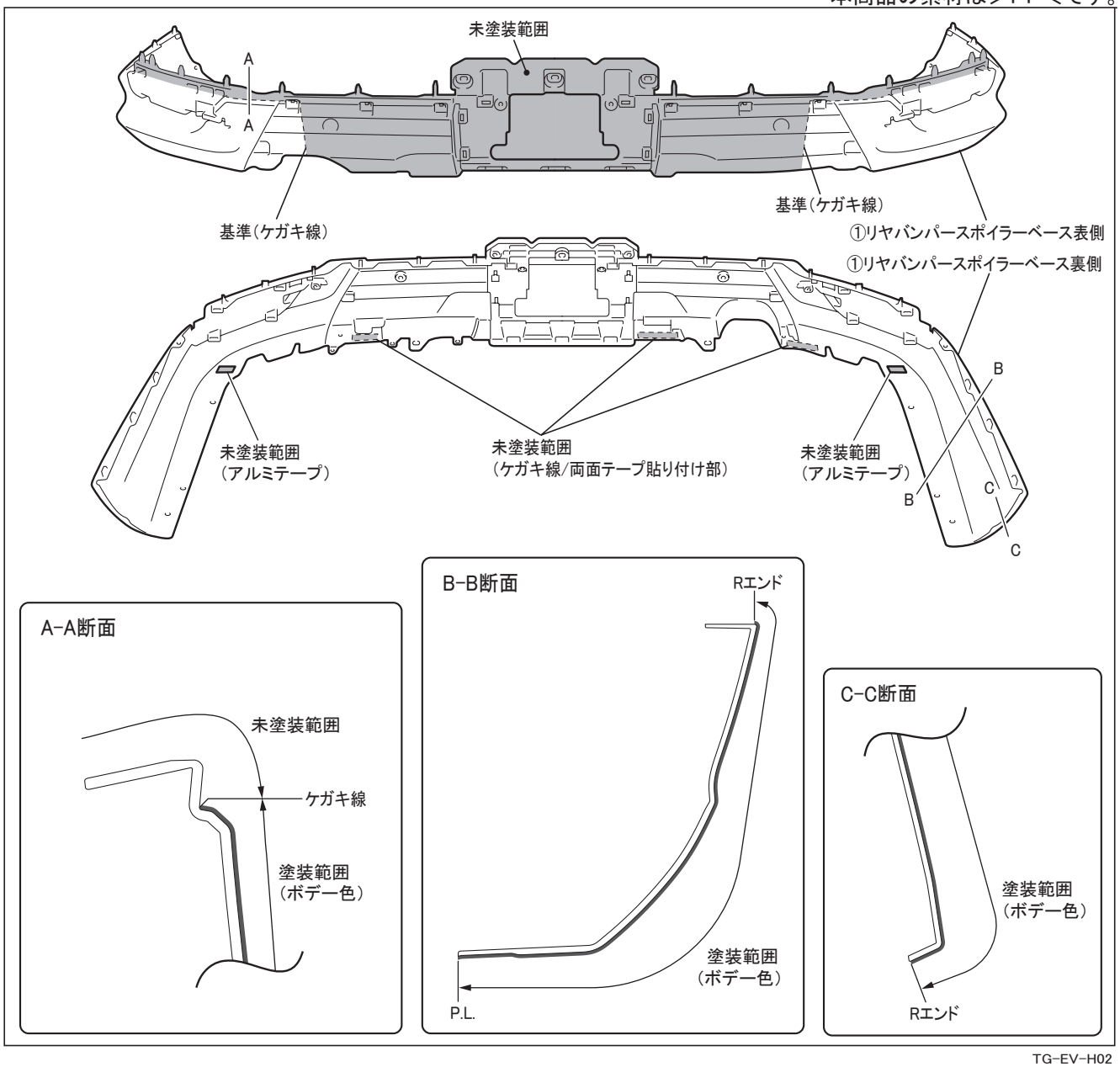
本製品の下地処理として、製品表面の面だしまで実施しております。塗装前の下地処理として足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗布は、販売店様にて実施してください。

■ 塗装前準備

リヤバンパースポイラーベースのマスキング

1. ①リヤバンパースポイラーベースの未塗装箇所をマスキングする。

本商品の素材は＞PP＜です。



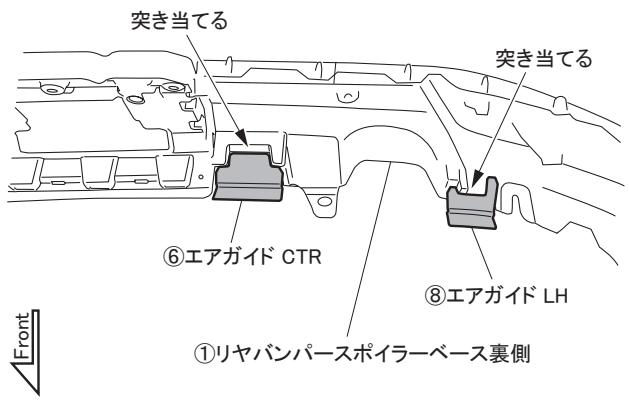
TG-EV-H02

⚠ 注 意

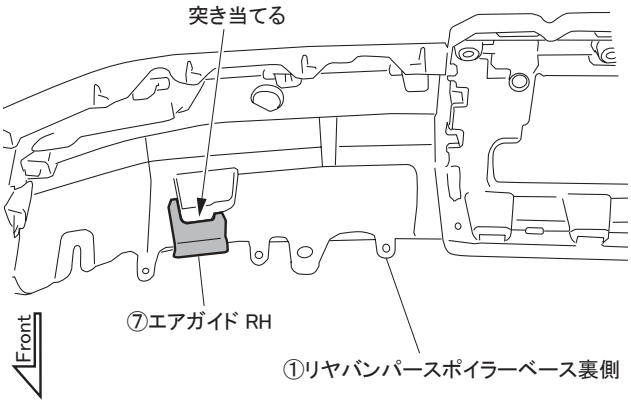
- 乾燥温度を70℃以上に上げますと商品に変形や割れが発生しますので、乾燥温度には充分に注意してください。
- 未塗装範囲(両面テープ貼付け部)は絶対に塗装をしないでください。接着力が低下します。
- 未塗装範囲(アルミテープ)には、絶対に塗装をしないでください。機能が損なわれます。
- キックセンサーが正常に作動しなくなる可能性がある為、塗装時導電性プライマーは使用しないでください。

■ リヤバンパースポイラーの組み立て

図はLH側を示します



図はRH側を示します



TG-EV-H06

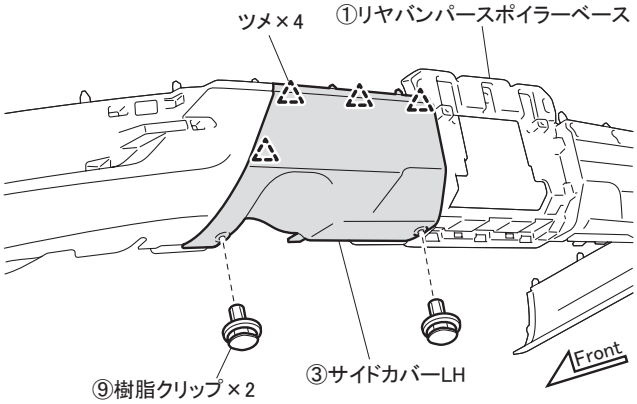
エアガイドの取り付け

1. イソプロピルアルコール（IPA）を使用し、両面テープ貼り付け面（3 箇所）を脱脂する。
2. 脱脂箇所（3箇所）にプライマー（K-500）を塗布する。
3. ⑥エアガイド CTR、⑦エアガイド RH 及び⑧エアガイド LH の離型紙を剥がす。
4. ⑥エアガイド CTR、⑦エアガイド RH 及び⑧エアガイド LH の両面テープを①リヤバンパースポイラーベースに 49N（5kgf）以上で圧着して取り付ける。

⚠ 注 意

- イソプロピルアルコール（IPA）を使用する際は、火気に充分注意してください。
- 脱脂後は十分に乾燥させてください。
- プライマー開封前に、必ずプライマー使用要領を読んでください。
- プライマーを塗布する際は、プライマー塗布範囲からはみ出さないように注意してください。
- プライマーが塗布範囲外に付着した場合は、直ちに脱脂剤等で拭き取ってください。付着してしまいますと変色することがあります。

図はLH側を示します

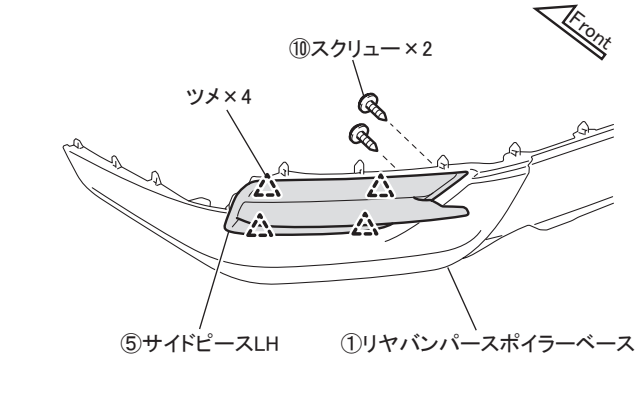


TG-EV-H09

サイドカバーの取り付け

1. ツメ（4 箇所）を嵌合し、③サイドカバー LH を取り付ける。
2. ⑨樹脂クリップ（2 本）で③サイドカバー LH を固定する。
3. RH 側も同様に作業する。

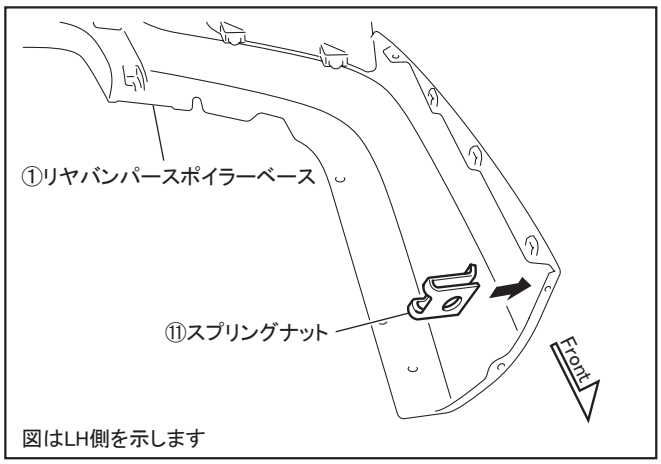
図はLH側を示します



TG-EV-H11

サイドピースの取り付け

1. ツメ（4 箇所）を嵌合し、⑤サイドピース LH を取り付ける。
2. ⑩スクリュー（2 本）で⑤サイドピース LH を固定する。
3. RH 側も同様に作業する。



TG-EV-H12

スプリングナットの取り付け

1. ⑪スプリングナット（1 個）を取り付ける。
2. RH 側も同様に作業する。

取り付け作業は P.6 ～ P.11 に従い作業を行ってください。

株式会社 トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
MODELLISTA 商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

脱脂作業要領書

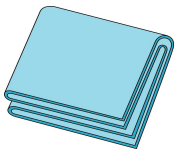
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

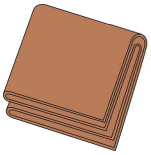
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

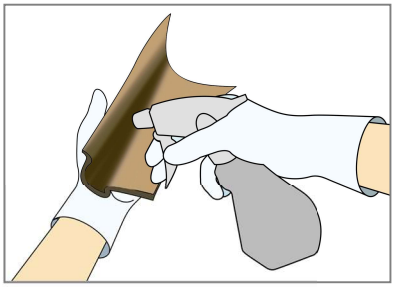

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

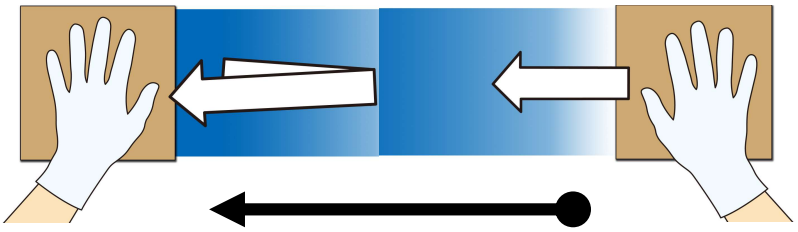


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

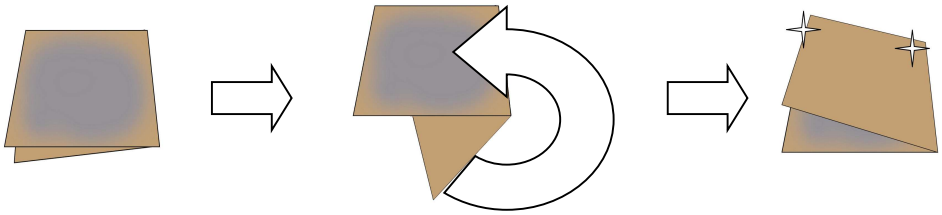
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。